

## 秋田県地域生活定着支援センターからのお知らせ

三種町で「地域福祉支援検討会」を開催しました。(2026/2/19)

令和8年2月19日(木) 三種町にて、「令和7年度地域福祉検討会(三種町会場)」(以下、「検討会」という)を開催しました。

当検討会は、秋田県地域生活定着支援センター(以下、「定着支援センター」という)が、三種町及び三種町社会福祉協議会の共催で開催したものです。まず、定着支援センターの職員が、「罪を償った高齢者・障がい者の立ち直りを地域で支えるために」と題して、定着支援センターの取り組みを説明し、事例の紹介等を行いました。

その後豊澤センター長より、定着支援センターの取り組みについて、疑問や意見などあれば自由な雰囲気の中で忌憚なく発言してもらいたいと呼びかけたところ、以下のような質疑応答、意見などの発言が活発に交わされました。



【質疑応答】(出席者からの質問に定着職員が応答)

Q;矯正施設など退所前に開催される調整会議に収集されるメンバーを教えてください。

A;受け入れ施設や生活保護、更生保護、ケアマネや福祉サービスの担当者に声をかけ、役割分担や支援を協議する。

Q;精神面で重篤な課題のある方の支援でも、本人の同意が必要か？

A;状況によるが、成年後見人の申立てが必要な場合がある。

Q;矯正施設では食事が提供されるが、出所後に買い物や調理を指導する支援はあるか？

A;更生保護施設や自立準備ホームで、そこまでの支援が行き届いていないのが現状である。

Q;障害などにより、自分の気持ちを言語化できない人の支援について聞かせてほしい？

A;面接では、理解しやすい言葉で問いかけに答えやすいよう留意して対応するが、本人の思いを捉え信頼関係ができるまでには、時間がかかる。

Q;最近、闇バイトや詐欺に加担する若者の事件を耳にするが、定着でも若い人の支援をしているのか？

A;定着で18歳未満の方の支援は1件だけだが、再犯防止相談支援窓口には、学校の先生などから相談が来る。支援チームを編成した対応が必要な事例が増えていると感じる。

【出席者からの意見】

- ・罪を償っても再犯者が多いと感じている。
- ・精神障害や軽度の知的障害の方の犯罪も多いと感じている。原因を掘り下げると幼少期の家庭環境の問題に行き着く場合もある。
- ・8050問題など引きこもりの方が大きな事件を起こすケースも多いと感じる。
- ・今回、定着支援センターの位置づけを勉強できて良かった。

最後に、豊澤センター長より、定着支援センターの事業内容や活動について理解が得られたことへのお礼と、支援は定着支援センターだけで完結されず、地域の皆さんと一緒に動いていくチームが必要であり、これを機会に秋田県地域生活定着支援センターをよろしくお願ひしたいと話して閉会となりました。